

疫学研究のお知らせ

東京大学大学院医学系研究科国際保健政策学教室は、下記のように疫学研究を実施しております。本研究は、東京大学 医学部倫理委員会での承認を得た上で、東京大学大学院医学系研究科・医学部長の許可を受けて実施するものです。本研究は、既存のレセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）からの抽出データを使用する後ろ向き研究であり、抽出データには一切の個人情報を含みません。

研究計画名

日本の都道府県別の保健システムパフォーマンス分析

研究の意義・目的

保健政策立案や保健介入における優先順位決定のためには、その基礎データとして死亡と障害を含む包括的かつ比較可能な保健アウトカム指標（burden of disease：疾病負荷）が必要です。本研究は、当教室のこれまでの疾病負荷に関する研究成果を元に、保健アウトカムに疾病負荷を用いた都道府県別の保健システムパフォーマンスの評価を行うものです。具体的には、保健支出を都道府県別に推定し、さらにそれと健康アウトカムとの関係を包括的に分析します。本研究は、我が国の主要な保健医療課題を都道府県レベルで評価し、それらに対応する最善の対策を見つけるためのデータを提示する我が国で初めての試みです。

研究で使用するデータ・研究方法

本研究は、既存のレセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）からの抽出データ（個人情報を含まない）を使用する後ろ向き研究です。NDBとは、レセプト情報及び特定健診・特定保健指導情報を格納・構築する厚生労働省のデータベースになります。

本研究では、本データベースからのデータ抽出を厚生労働省に対し申請し、得られたデータを使用します。抽出データに個人情報は一切含まれません。抽出するデータは、平成23年4月診療分から平成30年3月分（7年分）までのレセプト情報になります。（主に、年齢、性別、診療開始日、医療機関の都道府県、傷病名レコード、請求点数）。レセプト種類は、医科入院、医科入院外、DPC、歯科、調剤。）

個人情報保護について

本研究は、既存のレセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）からの抽出データを使用する後ろ向き研究であり、抽出データには一切の個人情報を含みません。

研究機関及び研究責任者

研究機関：東京大学大学院医学系研究科国際保健政策学教室

研究責任者：野村周平 助教

共同研究機関：米国ワシントン大学保健指標・保健評価研究所（IHME）

役割：各種推計の統計学的・数学的な技法に関してアドバイスを頂く。

本研究に関する費用は、公的機関からの資金から支出されています。具体的には、日本医療研究開発機構臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業、研究費助成事業基盤研究（C）、厚生労働行政推進調査事業補助金地域医療基盤開発推進研究事業の資金です。本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

問い合わせ先

東京大学大学院医学系研究科国際保健政策学教室

野村周平 助教

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

電話: 03-5841-3688

FAX: 03-5841-3637